

平成30年(2018年)8月25日(土曜日)

**東街区再開発**  
**三島市議会臨時会 市長、月内にも締結**

三島市議会の臨時会が24日開かれた。三島駅南口東街区再開発の協定書案を議論するかどうかを採決した結果、反対多数で否決し、審議せずに終了した。豊岡武士市長は報道陣に「協定書案は議会の理解を得られたと考える」と述べ、月内にも地権者や事業者との間で協定を締結する意向を明らかにした。

事業を巡っては6日に非公開で議員説明会が行われた際、協定書案の記述に曖昧な部分があり、資料の一部は回収されたなどとして最大会派清論会と共産の計8氏が反対。臨時に「協定書案は議会の議論するよう求めていた」。採決は議長を除く21人で実施し、この8氏が賛成、それ以外の13

事業を巡っては6日 氏が反対だった。  
 事業は公募でミサワホーム(東京)を中心とする共同企業体が最

優秀事業提案者に選ばれている。マンション・ホテルや商業施設、駐車場を整備する案があり、市は市民の意見を反映させるなど柔軟に対応する考えも見せている。(三島支局・河村英之)

市長に対する不信任の動議を提出した。議長を含む採決を行い、賛成4、反対18で否決された。

佐藤氏は提案理由で、市長は再開発の協定締結を急いでいるなどと指摘。「事業の説

明機会を自ら開いていれば(今回の)臨時会の開催要請のような問題にはならなかつた

止をと言うなら私を殺してからに」とした市長の発言も問題視し

とした。反対派に「中止を」と言うなら私を殺す。採決では所属会派内でも賛同は広がらなかつた。

た。